

道徳学習指導案

授業日時 平成30年9月5日(水) 第1校時
 授業学級 3年B組 男子19名 女子20名 計39名
 授業会場 3年B組(402)教室
 授業者 _____
 指導教員 _____

1 主題名

「成田緑夢さんの生き方から学ぶ」 内容項目A 希望と勇気、克己と強い意志

2 本時の主眼

成田緑夢さんの生き方について考える場面で、夢への到達を目前に大きな怪我を負い残酷な宣告をされたときの成田緑夢さんの気持ちを考えたり、自分だったらその後どうするかについて考えた後、大怪我ですら「挫折」ととらえない成田緑夢さんの前向きな生き方から自己の生き方を見つめなおしていく活動を通して、人生に起こるすべてのものは意味のあるものであるととらえ、これから生きていく中で困難や挫折にぶつかったとしても前向きに向き合おうとする姿勢が大切であると気付くことができるようにする。

3 指導上の留意点

- 資料を分けて配布することで、成田緑夢さんの怪我を越えての心境の変化を考えることができるようにする。

4 展開

過程	学習活動	予想される生徒の反応(○)や意識(◎)	教師の支援(・)と 評価	時間	
導入	1 成田緑夢さんの写真を見て、本時の学習内容について知る。 【個人・全体】	◎何してる人なんだろ。 ◎テレビに出てそうだな。 ◎この人知ってるよ。 ◎なんかすごい人なんじゃないかな。	・成田緑夢さんの写真を見せ、どんな人であるかについて考えることで、本時の学習内容へと意識を向けることができる。	5	
展開	成田緑夢さんはこのときどんな気持ちでしたか			10	
	2 資料1を読み、このときの成田緑夢さんの気持ちを考え、発表する。 【個人・全体】	◎辛くてしんどかったと思う。 ◎これまでの努力が無駄になってしまったと感じ、むなしさでいっぱいだったと思う。 ◎自分の無力感というか、いろいろなことに絶望したと思う。 ◎スポーツをやるのが怖いと感じたと思う。	・オリンピックに出ることに向けてただひたすら努力し続けていた、その夢が叶いそうな矢先の怪我で「歩ける可能性は20%です」と医師から告げられたときの気持ちや、その後の未来を想像できるように、医師の言葉やその時の写真を画面に大きく映すことで、夢や目標の達成目前に大きな挫折に直面したときの成田さんの気持ちを考えることができるようにする。		
	あなたが成田緑夢さんだったらこのあとどうしますか				
	3 あなたが成田緑夢さんだったらどうするかについて考える。 【個人・グループ・全体】	◎自分がこんな風になったらもう立ち直れない。 ◎夢が叶う直前でこんな状態になったらもう叶わないと思ってすべてあきらめてしまうし、夢とか目標を持つこと自体も嫌になりそう。 ◎生きる勇気を失いそう。 ◎選手生命は諦めてマネージャーとかの他の側面から人を支える存在になりたいと思う。	・自分が成田緑夢さんでこの状況に陥ったらどうするか、交流する場を設定し、互いの考えを交流するよう促すことで、友の考え方との共通点や相違点に気付くことができるようにする。 ・あきらめてしまう、努力を続ける、などそれぞれの考えの根拠を問い返すことで、その後の成田さんの行動と自分の考えとの差異に注目できるようにする。	20	
成田緑夢さんの生き方から学んだこと、感じたことを書いてみましょう。					
	4 資料2やインタビュー動画を見て、成田緑夢さんの生き方か	◎この人あの怪我を挫折っていう風にとらえてないんだ。 ◎怪我から学べた、みたいに言っていてすごい。	・成田緑夢さんの怪我についてのインタビュー映像を視聴し、インタビュー内容や怪我後の意識の変化や周りから見た成田緑夢さんの生き方を本人の姿か	10	

	<p>ら感じたことや学んだことについて考える。 【個人・全体】</p>	<p>◎自分だったら新しい目標なんて設定する気になれないし、新しく目標を設定してもまた叶わないんじゃないかって思ってしまいそうだけど、成田さんはそうじゃなくて新しい目標を設定して前向きで怪我をする前の夢も叶えようとしているから本当にすごいと思う。</p>	<p>ら考えられるようにすることで、夢や目標の達成目前での大怪我を挫折ととらえずに前向きで続ける姿勢や、新しい目標を設定して以前以上に努力をする姿から自分も目の前のものに全力で取り組む成田さんの生き方に共感できるようにする。</p>	
終末	<p>5 本時の学習をもとに考えたことや感じたことを書く。</p>	<p>◎これまで「挫折」はただただマイナスなイメージばかりだったけど、挫折を体験してこそ得られるものもあるから、これからはなんでも前向きにとらえられそう。 ◎人生の中に起こることに意味のないことはないから、状況とか関係なく、目の前のひとつひとつのことと全力で向き合っていきたいと思った。</p>	<p>・本時の学習をもとに考えたことや感じたことについて振り返るように促すことで、「挫折」に対するイメージの変化や自分の心境の変化について振り返り、今後の人生に生かせるようにする。 ・振り返りの最中に平昌パラリンピックで金メダルを取った際の動画を流し、最後に表彰台で金メダルをかけている写真を見せることで、どんな状況であっても目の前の一步に全力で取り組むことから得られる達成感や感動を共感的に体験できるようにする。</p>	5

6 板書計画

9/5

写真 成田緑夢さん
スノーボードの選手
オリンピックに出ていそう。

成田一家の夢:「五輪にでること」
2013年、トランポリンで大怪我
“「切断の可能性もあります」”

写真 夢実現目前で大きく遠のく...
「挫折」を経験

成田緑夢さんはこのときどんな気持ちでしたか

- ・これまでの努力が消えてしまい虚しい。
- ・もうオリンピックにはでられない。
- ・辛くてしんどい。

あなたが成田緑夢さんだったらこの後どうしますか

- ・立ち直れない。
- ・もうスポーツはできないと諦める。
- ・夢や目標を持つこと自体が怖くなる。
- ・マネージャーになる。

成田緑夢さんの生き方から感じたことや学んだこと

- ・あきらめないことの大切さ
- ・常に前向き
- ・なんでもできる
- ・努力の大切さ
- ・全力で取り組みたい

準備するもの

- ・資料 1, 2
- ・感想記入用紙
- ・発問カード
- ・写真
- ・センテンスカード

資料 1

【手が届きかけた「五輪」】

緑夢さんは、父親が子どもたちのために作ったスノーボードチーム「夢くらぶ」で、童夢さん（兄）、メロさん（姉）と一緒に1歳からスノーボードを始めました。大阪市の実家の屋上にはトランポリンがあり、空中での姿勢や感覚を磨くためにトランポリンを使っていました。

毎日飛び続けたトランポリンでは、高校2年のときに高校の全国大会で優勝し、12年のロンドン五輪は日本代表の最終選考まで残りました。さらに、その年の冬にはフリースタイルスキーを始め、すぐに日本代表に。13年3月には初出場の世界ジュニア大会で、ハーフパイプで優勝を果たしました。

五輪に出場すること——それは、小さなころからずっと当たり前だった「成田家の夢」だったといえます。そして、緑夢さんにとって、もう少しで手が届きそうな夢でした。しかし、それはある日突然、遠のきました。

【「切断の可能性もあります」】



世界ジュニア大会の1カ月後、いつものように自宅でトランポリンを飛んでいました。両足首にスキーの板の重さを想定した2.5キロずつの重りを付け、2回転宙返りで5メートルを飛ぶジャンプを1日に300回繰り返していました。

「飛んだ瞬間に左足が滑った」。体勢が崩れても、「背中から着地すれば大丈夫」。しかし、その時は重りの付いた左足が体の回転についてこなかったのです。前屈の体勢で落下し、左肩が左ひざに強打。「バキッ」という大きな音とともにひざが逆に曲がりました。

前十字靭帯（じんたい）、後十字靭帯の断裂に半月板の損傷。動脈も破裂し、内出血が広がっていたといえます。

「歩けるようになる可能性は20%です」「切断の可能性もあります」

医師は、両親にそう告げました。

病院のベッドでたくさんの管につながれ、絶えず激痛に襲われたまま身動きのとれない状態。両親には「リアルな症状を教えないで」とお願いし、「きっと少し脱臼して、少し骨が折れただけ」と自分に言い聞かせていました。入院は半年におよび、手術は4度。「足は切らないでほしい」と父親が医師に懇願していたと、後で知りました。しかし、腓骨（ひこつ）神経まひで、左ひざから下の感覚を失う障害が残りました。

資料2

【「勇気をもたらた」一通のメッセージ】

左足を引きずって30分も歩けば、30分は氷水で冷やさなければ腫れも痛みも引かない状態のころでした。痛みを耐えながらスキー靴を履き、夏にはウェイクボードも再開しました。

そんな時、1通のSNSのメッセージに心が揺さぶられたといいます。

「けがをしても、頑張っている緑夢君に勇気をもたらた」。障害のある人からのメッセージでした。

【自分がスポーツをすることで、誰かを励ませるかもしれない】

初めて、スポーツをする意味を考えるようになりました。



【「僕は3倍練習してますよ!」】

緑夢が挑むのは、波打った地面やジャンプ台がある斜面を2人で競う「スノーボードクロス」と、1人で滑って旗門を通過する速さで勝敗を決める「バンクドスラローム」。

トレーナーの山岡明広は「筋肉量が多くパワー抜群。股関節が柔軟で、しなやかさもある。動かない左足をどう補うか、追求している」とみる。

障害者スノーボード日本代表の二星謙一ヘッドコーチは、

好奇心と行動力について言及する。「とにかく、発想が豊か。常に問題意識を持って、何でも興味を持つんですよ」



【緑夢のここがすごい】 ～コーチ、トレーナー、ライバルが語る～

小林理事長も**行動力が緑夢の強み**だと話す。例えば、住居。「自らの言葉で海外発信するため、英語を学びたい」と思い立ち、外国人が住むシェアハウスで暮らす。

好奇心で終わらせず、進化するために徹底的に実践するのだ。目標を「誓約書」に書き、実行できなければ丸刈りにすると自分と約束する。これまで約200枚書いた。「1カ月後に走り高跳びで170センチを跳ぶ」と**具体的に立て、実現**させてきた。



「五輪もパラリンピックも関係ない。僕の中では同じスポーツだと思う。けがをして、僕がスポーツをすることで誰かの励みになれることを知ったから、パラリンピックに出場して、夢や希望を与えられる選手になりたい」と話します。

目指すは、夏冬のパラリンピック出場、そして五輪への夢もまだ諦めていません!!

年 組 名 前

▷ 1 :

▷ 2 :

【考えたこと・感じたこと】



成田緑夢さん



「歩けるようになる可能性
は**20%**です。」

「**切断**の可能性ががあります。」







スノーボード

男子バンクドスラローム(LL2) 3回目

